

Report

能登半島派遣報告

会場

輪島市役所 特設相談ブース

応援経営支援員

当所支援グループ 小島 清隆



応援に行きました輪島市は、今年1月1日の地震で震度7を記録。そして9月21日からの大雨で市内を流れる河原田川が氾濫し床上浸水150棟に上る被害を受けました。

地震から10か月以上経過した今も、地面の隆起や地割れにより歩道や裏通りは歩行困難なほどで、全壊したままの家も数多く残されています。さらに洪水の影響で泥が堆積し、場所によっては埃対策でマスクが必要となる状況でした。

私は、輪島市役所で相談対応にあたりました。市役所から宿泊するホテルまでは2kmほどの道のりで、毎日歩いて行き来します。ある日の夕方帰路についていると、見覚えのある方が前から歩いてきました。昼間相談を受けた洋食店を営む74歳の方で、店舗が地震による揺れと液状化で使用不能となり補助金を活用して建て直そうと準備を進められている方でした。

すれ違いざまにお声がけしたら、驚いた顔をされた後にパッと笑顔になり「お店再開に備えて身体を維持するため毎日1時間欠かさず散歩しとるし、週2回神社で物資配布ボランティアをやって重い物を運んどるげん」と力強くお話しされました。

ご相談を受けた皆様からは例外なく、困難を乗り越えて前に進もうという気持ちがヒシヒシと伝わって来て、終始、身が引き締まる思いで対応させていただきました。微力ながら復興の一助となれていましたら幸いです。

